

平成30年3月  
第380号

赤朧色の月が…！皆既日食 1/31



おもな内容

- ・釜戸小の活動から … P2
- ・子ども会、研修視察 … P3～P5
- ・旧大湫小学校の思い出 … P6
- ・公民館活動 … P7
- ・丸森だより … P8

「ひな祭りフェア」～ 4/3(火)まで

江戸末期から昭和までのひな人形展

(大湫宿のひな祭りは1ヵ月遅れの4月3日)

**☀️ 楽しかったスケート教室 2月5日(月)**

土・日曜日は最近では比較的温かったのに、月曜日はまた白銀の世界に逆戻り！

でも、子ども達は元気いっぱい。教室は初級・中級・上級と分かれて指導を受けました。下級生はお弁当を食べて帰路に…。上級生は午後からも指導を受けることが出来ました。

寒さなんてどこえやら！子ども達の顔は喜色満面。



**☀️ 地域学習 大湫たんけんの感想 2月6日(火)**

今年も6年生が大湫宿へ来てくれました。クイズ方式で大湫を探検した時の感想です。

- 今日は、大湫たんけんに行きました。私の知っている問題より知らない問題の方が多くて、意外と全然知らないんだなと思いました。江戸の人は琵琶峠を登ったりするのに、わらじで行ったりしていて、すごいなと思いました。
- 今日、大湫たんけんがありました。大湫には3年生のときに、小学校や観音堂、神明神社に行っただけでした。丸森や高札所、琵琶峠には行ったことがなかったです。琵琶峠はあるいていただけでもきつかったです。昔の人は江戸から京都まで、この道を歩いていたと思うとすごいと思います。
- 今日の5・6期間目に大湫たんけんがありました。私は大湫に行くのは初めてで、とても楽しみでした。着いたときに大湫小学校が取りこわされていて、なんだか少し悲しい気持ちになりました。昔、大湫は大久手と書いていたことが分かったり、大湫にはどのような神社があるのかを知ることができました。とても楽しい大湫たんけんになりました。
- 今日は、5・6時間目に大湫のふるさと学習がありました。実際に大湫へバスで行きました。私は釜戸に住んでいて大湫のことはあまり知らなかったけど、今までパソコンで調べたり、今日実際に行ってみたりして、大湫のことがくわしく分かりました。とても楽しかったです。また、行ってみたいです。

## 29年度子ども会について

子ども会育成会 奥村 早苗

大湫子ども会は、今、六年生6人を中心に全員で14人で活動してきました。

年間行事は、夏祭り・おたのしみ会・クリスマス会・送る会等を行いました。

おたのしみ会では昭和村へ行き、絞り染め体験・煎餅焼き、昼には子ども達のが作ったカレーを食べて楽しい一日を過ごせたと思います。

来年度からしばらくの間、子ども達は7人と少なくなってしまうと思いますが、楽しい子ども会にしたいと思います。

大湫町の皆さん、子ども達の成長を温かく見守って下さい。



## 丸森・観光ボランティアガイド視察研修 2/16(金)

『加納城址&岐阜公園(織田信長公居館跡等)視察』

体の芯まで冷気がこたえるような寒さがつづいていましたが、この日はとても穏やかな日となりました。しかし、“午前・午後とも視察という過酷な研修会にようこそ”と言う代表の言葉に思わず青ざめてしまいました。

加納宿は中山道  
17宿の中で一番  
大きな宿場だよ



中山道観光ボランティアガイドの会、み  
ずなみかたりべの会等23名

## 加納宿・岐阜公園ガイド研修会（参加者の感想）

丸森職員

2月16日(金)、中山道観光ボランティアの会の研修に丸森から7名参加させていただきました。

研修で感じたことは、

\*加納宿は10万石の城下町の中にあり、家康の娘(亀姫)とも関係がある大きな宿場として発展してきたが、戦災によって大切なものがほとんど失われてしまっている。現在は、カラー舗装した中山道として面影を残すのみであるが、保存会では周辺にある加納天満宮・岐阜城・岐阜駅を中心として今昔を伝えるよう努力されている。



\*大湫宿は加納宿の1/6の規模しかないが、街道筋の町並みから琵琶峠まで歴史を感じさせるものが凝縮されて残っている。この良さを観光案内所である丸森から発信し、より一層の観光客の誘致につなげていけたらと思う。

\*ガイドでは、図や物などを提示して視覚に訴えることも有効であることを教えていただきました。

\*このような研修の機会があればまた参加したいと思っています。



瑞浪市商工課 佐野

中山道観光ボランティアガイドをはじめ、総勢23名でガイド技術の向上や観光サービスの質を高めるため、岐阜市へ研修に行きました。

研修はバスの中から始まっており、これから向かう加納宿について、参加者の可知さんから事前講習を受けました。加納宿では、中山道加納宿文

化保存会の3名の方にガイドをしていただきました。加納宿は中山道最大規模の宿場で、案内に通常5時間かかるところ、2時間という限られた時間でガイドをしていただきました。加納城址からスタートし、本陣跡、久運寺等多くの名所を巡りました。残念ながら加納宿は空襲により当時の建物は殆ど残っていません。

ですが、ガイドさんの技術のおかげで楽しく歩くことができました。例えば、久運寺という小さなお寺も、ガイドさんの「お茶壺道中」に関する逸話によって、江戸幕府の厳しい制度と人々の暮らしを想像できる立派な観光スポットとなっていました。

続いて岐阜公園では、おんさい案内人の方にガイドをしていただきました。最初にトイレの案内があったりと、大変親切なガイドでした。また岐阜公園は、観光スポットとしてきちんと整備されているため、ガイド内容は、看板やパンフレットに書いてある以上の情報が多く盛り込まれていました。

今回の研修をとおして、観光ガイドの重要性を改めて感じました。特に加納宿のように建物等が残っていない場合はガイドさんの知識と技術が必須です。加納宿のガイド手法は、同じく当時の建物が少ない細久手宿に活用できるのではと感じました。

また行政としても、観光地としての整備やPRをすすめ、中山道の観光を、一緒により良くしていきたいと思います。

ようこそ大湫へ

はじめまして、私は昨年7月の終わりに大湫町に引っ越してきました「池戸孝文」といいます。年齢は45歳になります。

中仙道ゴルフ倶楽部の管理課で働いています。縁あって職場の近くに住む事になりました。出身は恵那市で、以前は市内のアパートに住んでいましたので一軒家で畑付き猫付きには満足しています。どうぞよろしくお願ひします。

# 旧大湫小学校

## 山ほどの思い出をありがとう

渡邊弘一

小学校の思い出を振り返ると、先ずは新校舎に「椅子」を運んだことです。校舎に上がるコンクリートの階段は一段が高く結構大変だったのに、上級生（と先生？）は重い「机」を運んでくれて、すごいなと思ったこと。次いで、それまではすり鉢の底のようで少し怖いイメージもあった（私は傾斜面で底の方に向かって滑った経験者？）旧大湫中学校のグラウンドでの運動会（小中合同？）が、平らな新校庭に換わり、怖さのイメージの無い楽しい運動会になった記憶。そして、コンクリート階段の上と踊り場でキャッチボールをし、廊下をわら草履で走り滑りし先生からお目玉を頂戴したこと。皮膚が無く赤く不気味な人体模型があり、暗くなると一人では入れなかった理科室。毎日何冊も出し入れのある図書館の書籍が何時でも整然と整理されていて不思議感のあった時、ふと本毎に数字が振ってあること（ジャンル別番号？）に気付いて成程と勝手に納得した記憶。お昼休みの三角合戦やゴム跳び、寒い時の押しくらまんじゅう、雪合戦。複式学級で、学年毎に別の方向を向き受けた授業（先生一人で2学年を効果的に教える知恵？）。修学旅行の汽車の旅と、夫婦岩の長い大注連縄。女性15名男性4名（卒業時）の極めてアンバランスな比率の6年間で、必ず負けた多数決ルールには未だ抵抗感が残っていること。落雷を受け養生をした大杉のてっぺんは、当時鷹の頭のように見えていて何時も大湫の町を見守っていると思っていたこと等々、走馬灯のように思い出されました。



数日前に旧校舎解体工事用の足場が無くなり校舎の姿形も無くなってしまいました。消えることの無い楽しい思い出を沢山有り難う。60年前の1958年5月7日は旧大湫小学校校舎の誕生日（落成式）とのこと、人であれば丁度還暦に当たります。

長い間お疲れ様でした、もう一度有り難う。

次回は、和田(桐井)千弘さんです

## 豆餅づくり2月5日（月）

4日が立春というのに、5日の大湫町は銀世界！  
そんな寒い中、町内の希望者が集まり豆餅づくりを  
開催。



昨年「みんなの農園」で収穫された黒豆ともち米で  
作られた豆餅は、口に入れると優しい味へ。砂糖に少々の塩を加えた味付  
けは、思わず微笑んでしまう程の絶妙な甘さでおいしさ抜群。

来年も食べたいですね・・・。

---

## 大湫公民館から

### にぎやかな作品のお蔭で・・・！

広報「大湫」2月号にて『公民館ロビーを飾る作品』を募集  
したところ、早速素晴らしい作品で公民  
館のロビーは賑やかになり  
ました。これからも皆  
さんの作品を順次  
展示いたします。



自然素材が生か  
された作品  
須山さん..作



素朴な素材が麻布の  
三つ編みにマッチ！  
河端さん..作



### 写真を募集しています

上記のように「公民館ロビーを飾る作品」募集をしています。

作品を展示することで来町の皆さまにも楽しんでもらい、展示を通じ、  
創作の意欲に継がることを願っています。

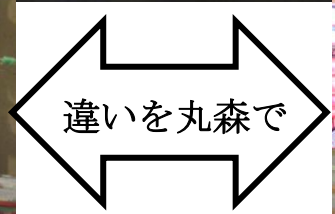
現在、写真を募集しています。テーマは問いません。奮って応募下さい。  
展示は第一弾として3月下旬から4月上旬を予定しています。

丸森だより

ひな祭りフェアを開催しています(～4/3まで)



明治7年のお雛さま(米屋)



昭和のお雛さま

昨年と配置換えをしました。新しくつるし雛も飾りましたのでお雛様に会いに来てください。  
3/3～3/11、おひな祭りを開催します。  
(期間中、飲み物を用意してお待ちしています)



桃太郎の土雛 (いぬ・さる・きじ)



つるし雛

土雛の名前がわからないものもありますので教えてください。



## いきもの語り (9)

しんがん

### 真贋を見極める

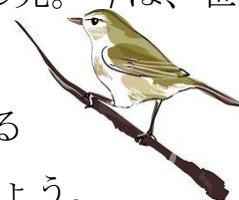
「春は名のみ風の寒さや 谷の鶯うぐいす歌は思えど」(吉丸一昌作詞)。  
ご存じ「早春賦」の一節。この歌が口ずさまれる時期となりましたが、ウグイスのさえずり「ホーホケキョ」が聞かれるのはもう少し先。今は、笹鳴きの「ジッジッ」。地鳴きともいわれます。

特許許可局(トッキョキョカキョク)と聞きなしがされる鳥。こう言えば、「あーあの鳥か」とお気づきのことでしょう。

「鳴いて血を吐くホトトギス」という言葉を思い出される方も少なくないでしょう。この鳥がインドから、ここ大湫に渡って来るのはもう少し先、5月上旬です。ホトトギスは托卵する鳥としてよく知られ、自分が産んだ卵を他の鳥に託し、抱卵・育雛いくすうまでしてもらうのです。托卵のおもな相手はウグイス。ホトトギスは、ウグイスが巣から離れた一瞬、自分の卵をこの巣に産み落とし、ウグイスの卵を一つ放り出します。早業です。

ホトトギスはヒヨドリよりも少し大きく、ウグイスはスズメより少し小ぶり。大きさにかなり違いがあります。これほど大きさが違うなら、産む卵の大きさも違うはずですが、大きさはさほど違いません。色合いも似ています。両者の卵はそっくり。卵擬態ぎたいの出来がすばらしいのです。ですから、ウグイスはホトトギスの卵が混じっていても気づきません。さらにホトトギスの卵はウグイスの卵より2日ほど前に孵化します。ここにもホトトギスの戦略があります。

卵から孵ったホトトギスの幼鳥は、まだ孵化しないウグイスの卵を全て巣から外に放り出すのです。この行為が容易にできるように、ホトトギスの雛の背中は、ウグイスの卵が乗りやすい構造となっています。こうしてホトトギスは、仮親のウグイスから餌を独り占めします。ホトトギスの雛は、大きな口を開けて餌のおねだり。この行為にウグイスはたまらず餌を食べさせます。餌をねだる巧妙で食欲なまでの戦術です。これではウグイスは自分の子を残すことができません。それでも絶滅しないのは、ウグイスの側も抗う手段を講じるからです。ホトトギスが南の国から渡来する前



に産卵することも、その一つ。ホトトギスがやってくると激しく攻撃し、追い払います。もう一つは、せっかく作った巣も捨て、別の場所で新たに巣を作ることです。調査によると、それでもホトトギスの渡来後は、46～54%が托卵を受けているという。

だましのテクニックが駆使され、孫から「至急お金がいる」といわれ、お金を出してしまう祖母とホトトギスの雛に餌を与える姿がダブります。托卵は身勝手に許しがたい行為にみえますが、ホトトギスも子孫を残すためには、もはやこの方法でしか生き残れません。進化の過程で生じた結果です。これを知れば許せるかな…。だが、どうして托卵をするようになったかは謎です。



あなたならこの謎、どう考えますか。

## 第2回公民館運営委員会 2/10 (土)

「公民館&丸森」の運営委員会が開催されました。

平成29年度の事業報告と平成30年度の事業計画(案)について活発な意見交換を行うことが出来ました。

公民館と丸森が指定管理となり一年が過ぎました。すでに指定管理者制度による運営実績のある市内の各公民館や市の担当者からのアドバイスを受けながらの手探りの事業運営でした。

区長会・寿大学・長寿会をはじめ自主グループの協力により、多彩な活動ができたことに感謝を申し上げます。

次年度の事業展開にもご協力よろしく申し上げます。

公民館：63-2360 長谷川・木村

### 感謝状

○市青少年育成市民会議

『松浦大哲氏』

平成十九年から平成二十九年の十年間、青少年育成推進委員として活躍し、町内においても広報委員として地域に貢献。



### デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

1月：40便 延べ65名

皆さん、もっと々利用してくださいね。

利用者が少ないと、運行本数が減ってしまうかも・・・!

## 旧大湫小学校解体工事へのご協力について（お礼）

教育委員会教育総務課

昨年11月から作業を行っています旧大湫小学校解体工事につきまして、2月末時点で本校舎を全て取り壊すことができ、残るはプール棟の解体等になります。



工事期間中は、大型重機や建物取壊し作業による騒音・振動の他、廃棄物搬出による運搬車両の往来により、大湫町の皆様には、ご心配・ご迷惑をお掛けしました。

着工時は、狭い入口のため、大型重機の場内搬入に手間がかかり、工

事終盤には、寒波や積雪の影響もあり、当初計画から若干の工事進捗の遅れが生じましたが、3月末に工事を完了する見込みです。

残りの工事につきまして、最後まで安全を優先に作業を行いますので、よろしくようお願い申し上げます。

大湫小学校の解体工事の計画から実施に至るまで、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。



### 二月の俳句

立春や戸口にきた来る

はぐれ猫



山口雪子

一のうま午朱の塗りたての鳥居かな

天野辰代

はるさむ春寒や遺影の笑顔と笑えみ合へり  
あまたグラウンドに数多思おもい出春迎ふ



## 認知症（ぼけ）ないで

### 生きるために

子供の頃、狐に化かされて徘徊したという年寄りがあったと聞いたことがある。「行方不明者が出た」と消防署が広報で知らせることがある。高齢者が多い割合には放浪する人が少ないのは、家庭環境や医療施設がよくなったおかげだと思う。

昔は三度の食事も粗末で、皆よく働いた。「ぼけ」てなど居られなかった。「人生五十年」と言われた時代、「ぼけ」て七十歳を迎える人は少なく、「ぼけ」と共に老衰で死を迎える人が多かった。

当時は、医療費も高く、余程病状が悪くなければ病院に行くことはなかった。今は「風邪」を引いただけでも病院に行く。ましてや「ガン」の心配

や血圧が高いとなれば、何をさておいても病院へ行って診察を受ける。

お陰で、男は八十一歳、女は八十六歳が平均寿命となり、三十年も長生きするようになった。当然病気になる人は増加する。八十歳を過ぎると半分の人

が認知症になると言われている。物忘れがひどくなった。知っている人の名前が思い出せない。家庭生活に支障があるぐらいならいいが、隣近所に迷惑を掛けるようになっては大変だ。自宅介護が出来なければ施設に預けてもらうしかない。

生活習慣病にならないように食べ物に気を付ける。体を動かす事が血液の若返りにつながるので、歩くことが健康に一番よいと言われているが、自家用の野菜づくりさえしない。

どの健康雑誌ともいいことが書かれているが、実行は難しい。三度の食

事もスーパーの加工食品を利用するのが当たり前である。よく噛むことが大事と言われて来たが、実行せずに高齢者となってしまった。

三大死因と言われている「ガン」「心臓疾患」「脳血管障害」等は、日進月歩の医療によって治療法が進む。死病と恐れられた結核は激減してしま

った。これからますます増加する「認知症」は、一刻を争う病気ではないが、発症をおくらせる予防医学に期待したい。どんな病気も本人の生活習慣が「鍵」を握っている。「天は自ら助くる者を助く」天は他人の力に頼らず努力する者を助けてくれる。病院や薬ばかりに頼らず長生きしたいものである。

天野長三郎



おしゃべり  
H30  
3月の集まるう会

大塚町  
コミュニティ  
推進協議会  
集まるう会

3月の集まるう会は 13(火) 24(土) 27(火)

3/13(火) 10時から12時まで

先輩おばさん  
から昔の話を  
聞くコーナーも  
あるよ。

ふれあいセンター内の老人作業所で  
カニタンは物づくりをしながら  
おしゃべりします。誰でも来て下さいね。

3/24(土) 10時から12時まで

どんぶりや  
まつぼっくりで  
何か作ったり。  
石に絵を描い  
たりしてもいいね。

ふれあいセンター内の作業所です。  
とばりごコーヒータイムをすませてから  
でもいいですよ。  
4月からの集まるう会の活動力について  
話し合います。  
太鼓についても相談します。  
みんなが集まりましょう。

3/27(火) 10時から12時まで 作業所です。

お天気が良かったら  
春みつけに行きた  
いね。

カニタンで楽しい物づくりをしながら  
おしゃべりしましょう。  
アイデアをいっぱい出し合って、楽しい  
集まるう会にしたいですね。

※「おもたかや」の「ほっかの店」は、3月で、いったん閉じることになりました。それからについては、次にお知らせします。  
ご利用いただき、ありがとうございます。

# 大湫公民館・大湫町コミ(まちづくり)からのお知らせ

ご招待券あります(各2名様)

## ○企画展「友の会作品展」

期間：3月18日(日)まで

会場：瑞浪市陶磁資料館

企画展示コーナー

## ○企画展「ゆる旅おじさん図譜」

期間：4月1日(日)まで

会場：中山道広重美術館

問合せ：Tel0572-63-2360

## オススメ!大湫分室の本 「虫のすみか」

小松貴:著

私たちが気づいていないだけで、庭先や道ばた、土の中には、虫たちの巣であふれています!アリやハチに負けず劣らず、面白い巣をつくる虫たちの日常に迫る一冊です。

## リ・アップ“ひよも”だより

3月のお茶のみ会のおさそい

日時：3月7日(水曜日)9:30~11:00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費：50円

今年も出前喫茶が来てくれますよ

お待ちしております

## 青色回転灯防犯パトロール 3月のパトロール予定者

3/月上旬：大竹市エ門、棚橋雅美

3/下旬：渡邊和隆、松浦大哲



月に2回、  
町内をパト  
ロールして  
いるよ...!

## \*大湫宿お休み処

3月の営業はお休みしております。

## \*おもだか屋『ほっか』

3月営業日(原則)

毎週金、土、日曜日

営業時間 AM10:00~PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事もあります。)



## 区長日記

今年の寒波は例年になく強烈で、標高の高い大湫町民にとつては厳しい立春となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。インフルエンザも新年から猛威を振るい、A型とB型が同時に襲ってきて、大人も子供も大変です。私も一週間ほど寝込んでしまいました。皆さまには手洗いうがいを励行して乗り切っていただきたいと思ひます。

先日も「丸森」が新聞に大きく取り上げられ、瑞浪市のPRに大きく貢献しています。2月には「丸森」の職員が岐阜市加納宿までガイド研修に出かけ、宿場町のガイドの仕方を学んでいただきました。更に観光案内所としての機能を充実させていただけるものと期待いたしております。

また、市が所有する「新森」については、既に活用事業者が決まり、整備活用に向けて協議が開始されており、飲食施設としての活用が検討されております。

市ではこの度、「古民家再生促進モデル建築物募集事業」を立ち上げました。応募のあった建物については、市が活用事業者を募集し、活用事業者は市の補助制度を使って改

修活用を図ろうとするものです。

大湫町は、中山道の宿場町として宿保全活動に取り組んでおり、町執行部としては、この事業に町が所有する「米屋」を応募し、整備活用に取り組もうと考えております。町としては、古民家が朽ち果てるのを座して待つのではなく、あらゆる手段を駆使して活かしていきたいと思ひますので、皆さんのご支援ご協力をお願いいたします。

区長会長 足立

2月2日 定例区長会・幹事会

3日 大湫町公務員OB会

4日 初午祭

14日 米屋整備活用懇談会

15日 古民家再生調整会議

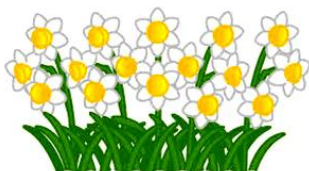
16日 ボランティアガイド視察研修会

18日 青少年育成市民会議

19日 西区市道整備資材調達事業

21日 岐阜県空き家対策研修報告会

23日 釜戸中学校総合発表会



平成三十年三月行事予定

予 定

日	二	三	四	五	六	七	十	一	一	一	二	二	二	二	二	三	三	
曜	金	土	日	月	火	水	土	日	火	土	日	火	土	月	火	水	金	
		定例区長・幹事会	大湫宿景観協議会	神田稻荷例大祭	財産区全員会議	中学校卒業式	リ・アップ「ひよも」 確定申告相談（九時～十一時半） おしゃべりサロン	春季奉仕作業 山車修繕工事完成説明会	集まろう会	大人の社会見学（公民館）	雄白稻荷例祭	*春分の日	小学校卒業式	おしゃべりサロン／集まろう会	小中学校修了式／幼稚園卒園式	集まろう会	長寿会総会	広報委員会

今月の資源ごみ: 3/20(火) 不燃ごみ: 3/6(火)



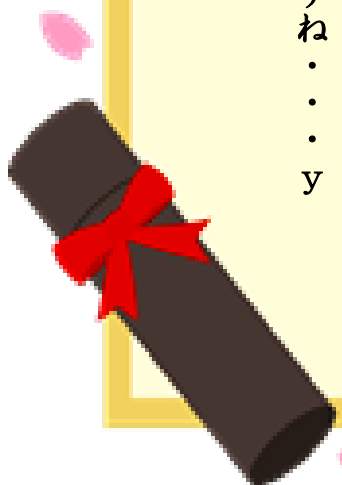
編集後記

今年の冬は例年に  
なく冷え込んでいた

ので、春が待ち遠しいのではない  
でしょうか？

春の訪れは新緑や咲き誇る花々  
の彩りで私たちの目を楽しませて  
くれますが、この季節の中で特に  
春を感じられる一番は「卒業」を  
迎える若人たちでは・・・？

学生から社会人になる人、ふる  
さとを離れ旅立つ人など、思わず  
「頑張ってたよ。」とエールを送り  
たくなりますね・・・y



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
平成30年3月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360  
<http://okute-shuku.jp/>